

## 新たな健診の基本検査の基準範囲

### 日本人間ドック学会と健保連による 150 万人のメガスタディー

---

#### 【研究内容】

#### ○日本人間ドック学会と健康保険組合連合会とによる共同研究で、新たな検査値の基準範囲を作成

本研究事業は、医療保障総合政策調査・研究基金を活用して、日本人間ドック学会と本会とが共同で2年間にわたり研究を行うものである。平成25年度においては、日本人間ドック学会が認定している人間ドック健診施設機能評価認定 200 施設より、約 150 万人に及ぶ人間ドック健診受診者の健診データを集積し、新たに予防医学の観点から血圧やBMI、血糖、コレステロールなど 27 項目について、基準範囲を性別、年齢別に作成した。

#### 【研究方法】

#### ○基準固体の設定には、国際的に認知されている CLSI に基づいて設定

米国 Clinical Laboratory Standard Institute (CLSI) の基準に準じ、①重大な既往歴の有無、②薬の常用有無、③喫煙なし、④飲酒 1 合/日未満など従来の臨床検査の基準範囲の設定で用いられたものの中で、最も厳しい条件で健康人を定義づけ抽出したところ、人間ドック受診者約 150 万人から約 34 万人が選出された。この中から約 1/7 の集団をアトランダムに取り出し、潜在異常値除外法を用いて二次除外を行い、最終的に選出された超健康人(スーパーノーマルの人)の約1万-1万5千人の個々の検査値から基準範囲を求めた。

なお男女差および年齢差については、統計学的に明らかなものをその差が存在するとし、年齢別の基準範囲では、年齢を 30-44 歳(壮年期)、45-64 歳(中年期)、65-80 歳(高齢者)3 グループに分けて算出した。

#### 【研究結果】

#### ○性差、年齢差を認める項目や、学会基準値を乖離する項目もあった

本基準範囲は、男女差および年齢差を認めない検査が 7 項目、男女差を認める検査が 11 項目、男女いずれかが年齢差を認める項目が 8 項目、男女とも年齢差を認める検査が 1 項目あった。

学会基準値と近似するものもあったが、中には学会基準とかけ離れた検査もあった。特にかけ離れていたのはコレステロール関連の検査や男性の中性脂肪であり、従来の基準値より上限値がかなり高かった。

今回の基準範囲はいわゆる健康人の検査値であり、専門学会等が示している疾患判別値とは異なるが、150 万人のメガスタディーによる新たな検査値の基準範囲であり、今までに類のない調査結果である。今後健診機関の共用基準範囲として、健診の現場で用いられる事が期待される。